

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 15 日現在

機関番号： 33932
研究種目： 基盤研究(B)
研究期間： 2008～2011
課題番号： 20401050
研究課題名(和文) アジア太平洋地域における感染症対策についての医療人類学的研究
研究課題名(英文) Medical anthropological research on infectious disease in the Asia Pacific region
研究代表者
成田弘成(NARITA HIRONARI)
桜花学園大学・学芸学部・教授
研究者番号： 40189212

研究分野： 文化人類学

科研費の分科・細目： 文化人類学・文化人類学・民俗学

キーワード： 医療人類学、HIV/AIDS、デング熱、アジア新興国、
ミレニアム開発目標、感染症対策、グローバル・ヘルス

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、ミレニアム開発目標における HIV/AIDS を中心とする感染症への具体的な対応策を検討する為、アジア新興国及びアジア太平洋地域を4年間にわたり、医療人類学的視点から調査することである。

本研究では、研究対象地域を、後発開発途上国(パプアニューギニア・ラオス)新興国(中国・インド)、中進国(タイ)の3つに区分けし、その問題点の相違に着目しながら感染症をフィールド調査するものである。

2. 研究の進捗状況

(1) 近年の感染症の脅威の増加・拡大に伴い、本研究の意義は更に高まっている。本研究では、HIV/AIDS 及びデング熱を中心に調査を行っているが、インフルエンザやコレラ等の感染ルートも、調査対象地域で確認され、包括的な感染症対策の必要性を明確化しえた。

(2) 研究対象地域のフィールド調査の実施により、後発開発途上国のパプアニューギニア・ラオスでは、基本的な医療インフラの不足や海外援助の連携の必要性を確認し、新興国の中国・インドでは、都市化に伴う問題、中進国のタイでは海外との医療協力体制作りの更なる必要性、等を確認した。

(3) 本研究では、中国やタイ等の海外協力者との連携を重視し、フィールド調査のみならず、研究発表においても協力関係を築いてきた。研究当該国の立場を理解することにより、先進国における医療援助の在り方を明確化しえた。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

本研究では、フィールド調査の実施を重視しており、担当者は毎年の計画に沿い、順調に調査を継続している。また海外協力者との関係も良好で、順調に研究を積み重ねている。しかし、近年の感染症の脅威の増加に伴い、現象も複雑化しており、その対応モデルの構築に時間を要している。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 最終年度では、フィールド調査の実績を踏まえ、各地域(インド・タイ・パプアニューギニア・ラオス・中国)の感染症対策に関する地域モデルを報告する予定である。

(2) 地域モデルに加えて、それらを統合する包括モデルを構築し、アジア地域におけるミレニアム開発目標の達成の為の政策提言を行う予定である。本研究では、研究対象地域を、後発開発途上国、新興国、中進国の3つに区分し、その比較研究の中から、感染症対策の共通利益を分け合う統合的なモデル作りを目指すものである。

(3) いわば地域内「南南協力」を模索する予定である。本研究では、タイのマヒドン大学との連携もあり、感染症対策における「タイの経験」を、インドやラオス等の国々に適用する方法を更に協議してゆく。

(4) 近年の感染症のグローバル化については、健康のセキュリティ(安全保障)を含めた対応モデルを構築する予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

徐文波・成田弘成、中国伝統医学からみた感染症へのアプローチ、桜花学園大学人文学部研究紀要、第13号、87-96頁、2011年、査読有。

Raweewan Srisawat ・ Narumon Komalamisra ・ Theerawit Phanphoowong ・ 高崎智彦 ・ Lucky Ronald Runtuwene ・ 倉根一郎 ・ 成田弘成 ・ 江下優樹、Present status of the insecticide susceptibility of *Aedes* mosquitoes in Thailand、日本赤十字豊田看護大学紀要、第6巻、第1号、31-37頁、2001年、査読有。

Ryo Murata, Yuki Eshita, Akihiko Maeda, Junko Maeda, Saki Akita, Tomohisa Tanaka, Kentaro Yoshii, Hiroaki Kariwa, Takashi Umemura, and Ikuo Takashima、Glycosylation of the West Nile Virus envelope protein increases in vivo and in vitro viral multiplication in birds. *Amer. J. Trop. Med. Hyg.*、82巻、4号、696-704頁、2010年、査読有。

〔学会発表〕(計3件)

江下優樹、高崎智彦、林昌宏、Raweewan Srisawat, Narumon Komalamisra, Yupha Rongsriyam, 湯偉峰, 青野裕士, 牧野芳大, 成田弘成, 牛島廣治, 倉根一郎(2010): タイ国産ネッタイシマカのチクングニアウイルス感受性。第62回日本衛生動物学会大会、2010年4月3日(土)・4日(日)、鹿児島大学郡元キャンパス、鹿児島県鹿児島市。

Yuki Eshita, Josef Sem Berth Tuda, Lucky Ronald Runtuwene, Prima Pratama, Toshiaki Katayama, Shuichi Kawashima, Kazushi Hiranuka, Tomohiko Takasaki, Raweewan Srisawat, Narumon Komalamisra, Hironari Narita, Hiroshi Ushijima, Hiroshi Aono, Yoshihiro Makino, Miho Imada, Chihiro Sugimoto, Ryuichiro Maeda, Yutaka Suzuki, Sumio Sugano, Junichi Watanabe (2010): Biological and ecological aspects of chikungunya and malaria vector mosquitoes in Southeast Asia. Parasite pathogen genomics: Prospect for tropical disease control. International scientific meeting in line with the 51st anniversary of Faculty of Medicine Sam Ratulangi University (The Watanabe Memorial Symposium), Manado, Indonesia, 27 May

2010.

Raweewan Srisawat, Narumon Komalamisra, Chamnarn Apiwathnasorn, Yupha Rongsriyam, Yuki Eshita (2010): Evidence of mutations in sodium channel domain IIS6 in field-collected permethrin-resistant *Aedes aegypti*. The Fourth ASEAN Congress of Tropical Medicine and Parasitology, SINGAPORE, 2-4 JUNE 2010.

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕
出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕